

こぶしの花

令和元年12月24日発行

第206号
むつみ中学校
学校だより
【ホームページ】



<http://edu.city.hagi.lg.jp/mutsumi-jh/index.html>

第2回むつみネット～ワールドカフェ方式～

12月6日(木)に第2回むつみネットを開催しました。寒い中、多くの会員の皆様に参加していただきました。今回は、「学校や地域をさらに良くするために自分ができること」についてワールドカフェ方式で熟議を行いました。ワールドカフェ方式とは、4～5名の少人数でグループを作り20分間討論を行い、その内容をもって、それぞれ別のグループに入ってそこで20分間討論を行います。司会は、最初のグループから動きません。小グループなので参加者一人ひとりが、発言しやすく、2回目はグループが変わるので他のグループから出た意見も聞くことができるという利点があります。今回は、前回のむつみネットよりも、全員が発言し様々な意見が出ていました。出た意見を下の枠囲みに記載します。これらを踏まえ、来年度の学校運営協議会やむつみネットは活動していきます。



- あいさつは、よくなってきている。
- 地域も学校もコミュニケーションが大切なのではないか。
- 学校と地域が行事によってつながることが大切である。住民福祉講座と小学校の学習発表会が一つになったのは、双方にとってよかった。
- 児童生徒数が減っていく状況で、学校行事・地域行事の精選が必要である。
- そのための組織である「むつみコミュニティ」が重要である。



生徒会役員選挙で堂々と意見を述べました

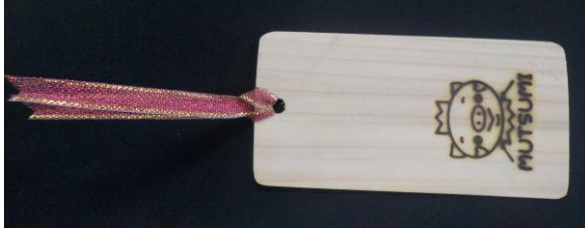
12月10日(火)生徒会役員選挙が実施されました。立会演説会では、立候補者と責任者が自分のマニフェストを含めて「より良いむつみ中にするために何が足りないか、何をすべきなのか」について、大きな声で堂々と演説していました。

今まで取り組んできた「あいさつ」だけではなく、自分の意思を伝えるための「返事」をこれから取り組むべきことにあげていた生徒が多かったようです。演説会のあと、投票を行い生徒会会長と副会長が決定しました。さらに生徒会役員の話し合いでその他の役員が決定し、3学期からの活動に向けて動き出します。これからの生徒会活動が楽しみです。



第3回森林の教室～間伐材でしおり葉づくり～

11月26日(火)に第3回森林の教室を開きました。今回は、林業の一端を体験することにより森と人との関わり的重要性を理解する目的で、昨年と同様に間伐材で木の香りがする「森林のしおりとストラップ」づくりにチャレンジしました。薄く削った檜の間伐材をしおりサイズに切り、サンドペーパーで磨きをかけて穴を開け、むつみ中のマスコットキャラクター「キングトントン」の焼き印を押してリボンを通してできあがりです。完成品は、木の肌触りのある素朴なしおり葉と



ストラップになりました。機会があれば地域に還元したいと考えています。当日は、阿武萩森林組合むつみ支所藤井支所長、山口県萩農林水産事務所森林部森林づくり推進課小阪さんに来ていただきました。ありがとうございます。

火災対応避難訓練を行いました

12月2日(月)ブラインド方式による火災対応避難訓練をスクールガードリーダーの田中さん、少年安全サポーター茂刈さん、萩市消防本部予防課長阿武さんをお招きして実施しました。3年教室が火元の設定として生徒たちの避難の様子と教職員の動きを観察し、課題を明確にして下記のようなアドバイスをいただきました。火事が多い季節ですのでみなさんも火の取り扱いには十分注意をしてください。



- 非常ベルが鳴ると同時に避難できたのはよかった。自分の命を守る行動を生徒が行うこと。
- 火災感知器は、作動すると発光ダイオードが付いていて、どの感知器が反応したかわかる。
- 教職員の指示の声は、大きくするとよい。
- 生徒だけではなく教職員の点呼も必要である。

現生徒会執行部の最後の生徒集会

12月4日(水)生徒集会が開かれました。保健体育委員会が「スマホが脳を壊す」という内容の発表を行い、生徒会執行部は、自分たちが企画する最後のレクリエーションを行いました。くじでスピーチのテーマを決める「1分間スピーチ」を行い、今までの週末集会等のスピーチの成果を発揮できた人も難しいテーマに戸惑う人もいましたがみんな一生懸命スピーチをしていました。生徒会執行部のみなさんお疲れさまでした。



門松づくり

12月20日(金)むつみ元気支援隊の12名の方々をお招きし、正月飾りの門松を作製しました。年中行事の伝統を受け継ぐこと。地域の方に教えていただくこと。生徒たちにとっては貴重な時間を過ごすことができました。むつみ元気支援隊の皆さんありがとうございました。

